

GIMP による高度な明るさの調整

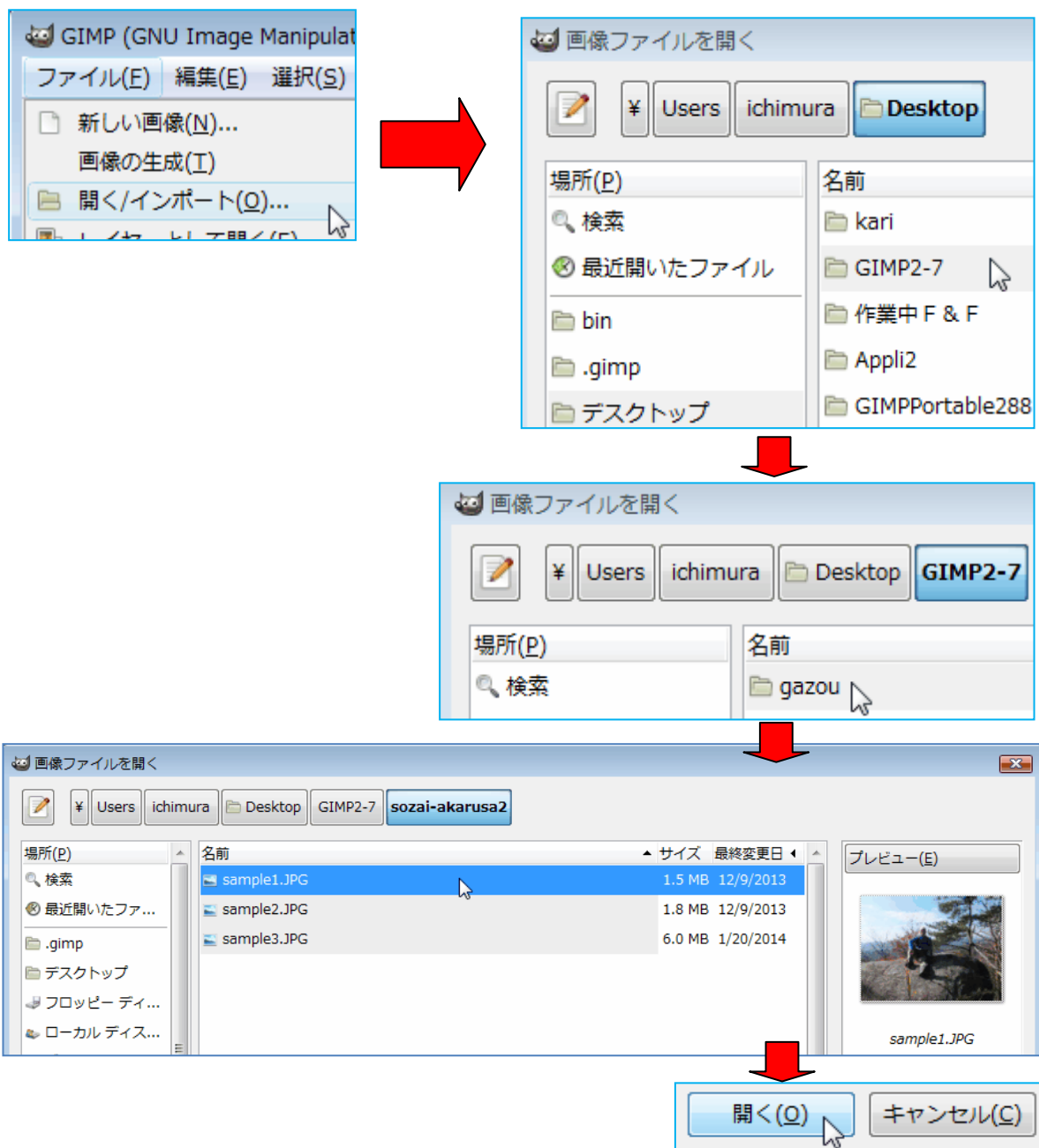
明るさを調整したい写真の代表例は逆光写真でしょう。撮影ポジションと太陽の位置から逆光と判っていても撮影しなければならない場面は多いと思います。前回説明の明るさの調整方法でも黒くなった部分を明るくは出来ませんが、修正した部分と未修正部分の輪郭がはっきりして不自然な写真になってしまう欠点がありました。輪郭を目立たなくして修正するのが今回の方法で、実用性価値の高い方法ですから是非マスターして思い出を綺麗に残して下さい。

ポイントは「クイックマスクモード」と「グラデーションツール」を使うことの2点です。

1. 加工する写真を開く

演習では準備したデスクトップに置いた写真を使いますが、各自の写真の加工では写真がどこに保存されているのか予め確認しておく必要があります。

ファイル[メニュー]→開く/インポート→デスクトップ→GIMP2-7→sozai-akarus2→sample1→開く

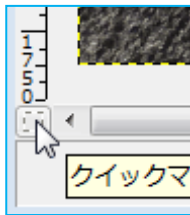


写真は独り登山でしかも三脚も持って行きませんから、カメラを固定出来る木の枝を利用するこのポジションしかなかったものです。グループで行った場合でもこのように影が出来てしまうことは多いと思います。

ここまで黒くなっていると綺麗には修正出来ませんが、顔が判別出来るように、そして、写真右半分の暗くなっている部分を明るくする2段修正を行ってみます。



2. クイックマスクモードにする

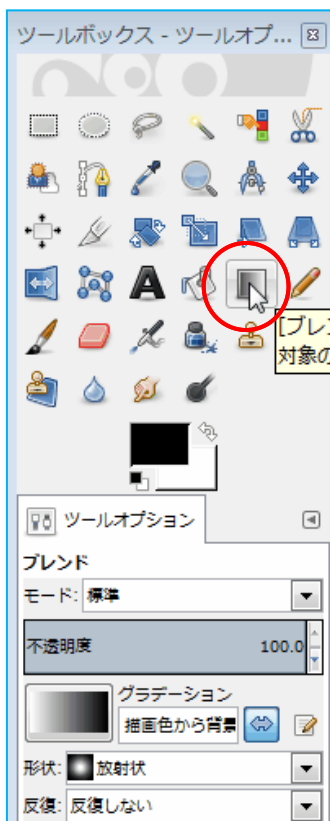


描画ウィンドウの左下隅にある目立たない点線四角をクリックする

画面全体が赤いスクリーンで覆われる

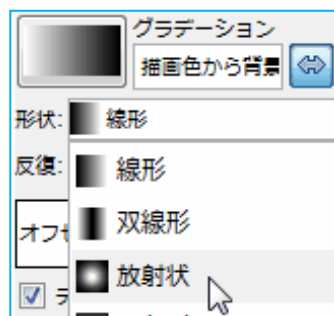


3. ブレンドツールを選択して明るくしたい範囲を囲む

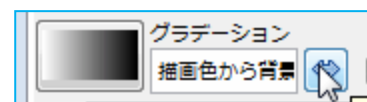


①ブレンドツールを選択(ブレンドツールはグラデーションを描く時に使用するもので、グラデーションですから濃い色から薄い色に徐々に変化させることが出来ます。これをクイックマスクと組み合わせることで選択した範囲の明るさの変化を徐々にいき、加工境界線を目立たなくするものです)

②放射状形状を選択



③グラデーション方向を選択



右側が黒く、左側が白い状態を選択する。

- ④囲もうとする範囲のセンターでクリックして外周までドラッグして手を離す
 明るくしたいのは顔ですから、顔を中心として外周範囲までドラッグする
 ⑤描画ウィンドウ左下隅のクイックマスクモードをクリックして通常モードにする

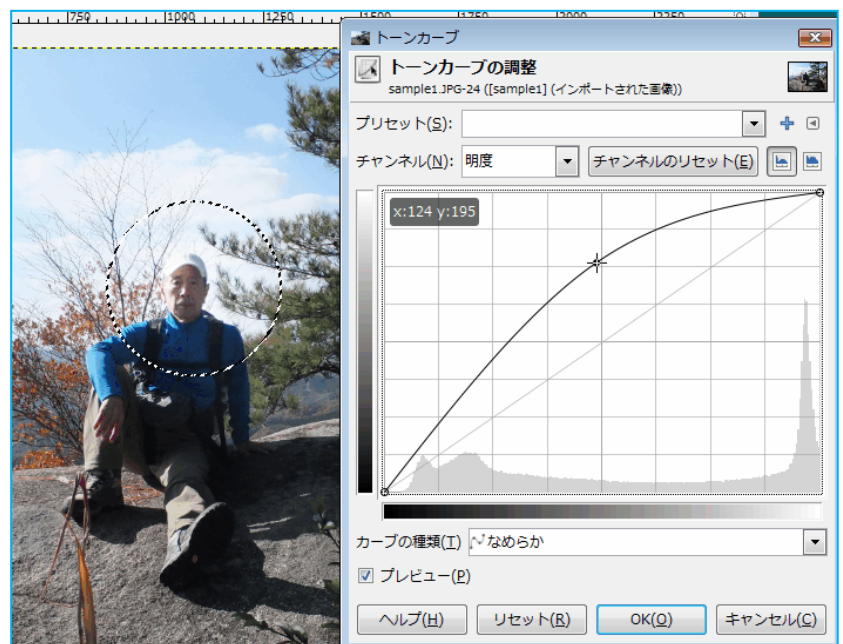
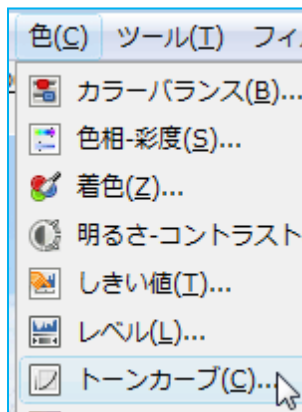


囲まれた円形外周の点線が動いていることと、写真全体の外枠点線が動いていないことを確認して下さい。写真全体の外枠点線が動いている場合は円形の外側が選択されていることを表しますから、選択範囲を反転する必要があります。反転する場合は、選択[Xキー]→選択範囲の反転をクリックします。

4. 囲んだ範囲を明るくする

①色[Xキー]→トーンカーブ

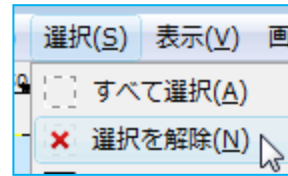
②画面と見比べながら斜線中央部を上を持ち上げる



明るくしすぎると白い帽子と雲の色との一緒になってしまったり、色飛びが発生してきますから、顔がハッキリとは見えなくてもほどほどにとどめておく必要があります。

③OK

④選択を解除 選択[Ctrl]→選択を解除



5. 写真右半分を明るくする

①クイックマスクモードにする（左下隅の点線四角）

②ブレンドツールを選択

③線形形状を選択



④写真の右端から明るくしたい範囲までドラッグする。斜めにドラッグすれば三角形形状に選択出来、斜めの角度によって三角の形が変わります。思いうような形に選択出来なかった場合は元に戻し（編集[Ctrl]→〇〇を元に戻す）てやり直します。



⑤通常モードに戻す（左下隅の点線四角）

⑥トーンカーブを使って明るくする
（色[Ctrl]→トーンカーブ）

⑦OK

*保存はエクスポートから

加工前の写真との比較。尚、説明は省きましたが体中央と左手部分も個別に明るくしてみました。

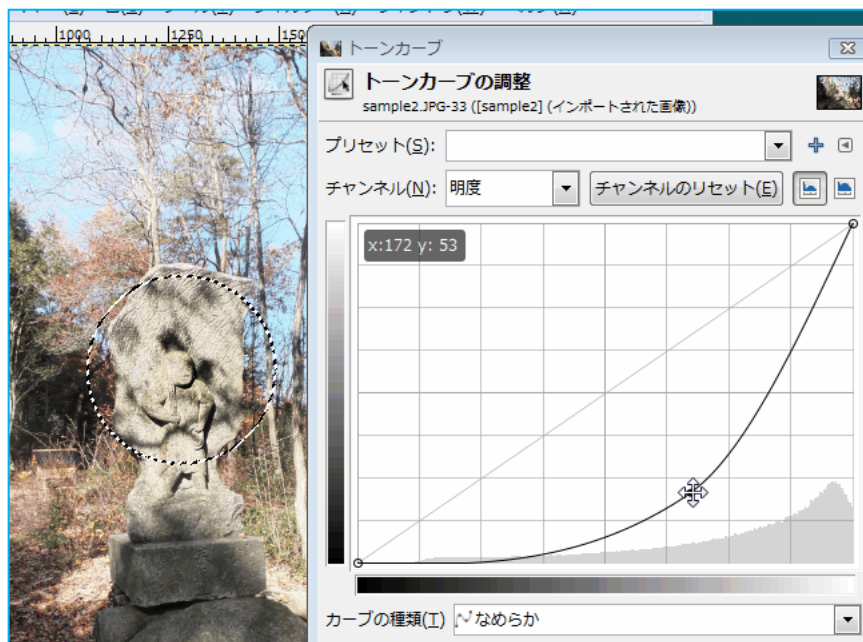


注)拡大してみると判るのですが、明るくした部分の粒子が粗くなっています。これは元々細かい点で構成されている状態から暗色の点を削除したり、明色に統合することで明るく表示させているためです。大きなサイズにプリントする場合にはこのような加工は行わないほうが良いでしょう。

6. 明るすぎる写真を暗くする

明るくする時に使ったトーンカーブの斜線を「下向きに下げる」ことが違うだけで、その他は明るくする方法と同じです。

- ①画像 sample2 を開く（ファイル[メニュー]→開く/インポート→デスクトップ→GIMP2-7→sozai-akarusa2→sample2→開く）
中央の不動明王石像が露出オーバーというかたちで白っぽくなっているのと、左右の木々が暗くなって感じの悪い写真になっていますので、これを修正します。
- ②クイックマスクモードにする（左下隅の点線四角）（画面赤を確認）
- ③ブレンドツールを選択
- ④放射状形状を選択
- ⑤不動明王石像囲む（石像の顔をセンターとして石像台座まで）
- ⑥通常モードに戻す
- ⑦トーンカーブで暗くする（色[メニュー]→トーンカーブ）

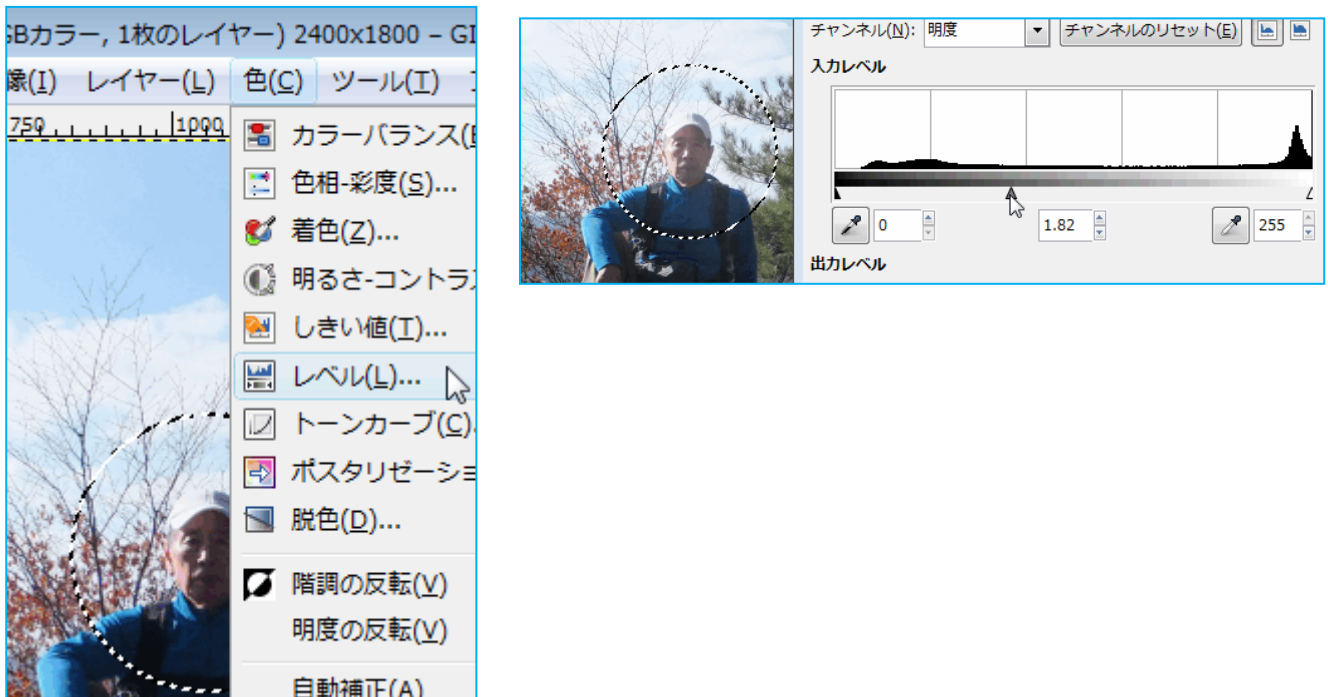


- ⑧OK
- ⑨選択を解除（選択[メニュー]→選択を解除）
- ⑩左右の木々はブレンドの線形形状を選んで範囲を選択し、トーンカーブで明るくする

加工前と加工後の比較



今回の作業は「トーンカーブ」だけを使いましたが、「レベル」を使ったほうが自然に仕上がる場合もありますから試してみると良いでしょう。また、トーンカーブも中央一箇所を上下させるだけでなく、S字（逆S字）などにすると綺麗に仕上がる場合もあります。これらはいずれも体感習得しかありませんから、まずはやってみる事です。



***時間があれば sample3 もやってみましょう！ 手順説明は省略します。

追記: 丸く選択された範囲を楕円にしたり小さくしたり変更する機能がないのが不便なところですので、選択した範囲を削除して再度狙う範囲になるように行う必要があります。